

令和8年4月23日
医療連携推進会議

14時30分～

テパ工鶴ヶ島定期巡回サービス

議事次第

日時：令和8年4月23日 14:30～15:00

場所：web会議

- ① サービス状況報告
- ② サービス事例 三枝洋CM
- ③ 意見交換 提案など

定期巡回と随時対応

◆定期巡回

予定と時間が前日までに決まっている、計画的な訪問サービスです。日々の生活リズムを整え、安定した在宅生活を支援します。

◆随時対応

当日までに決まっていな、突発的なニーズに応えるサービスです。必要な時に必要な支援を提供し、利用者様とご家族の安心を支えます。。

定期巡回・随時対応 多かったサービス

・ 定期巡回サービス

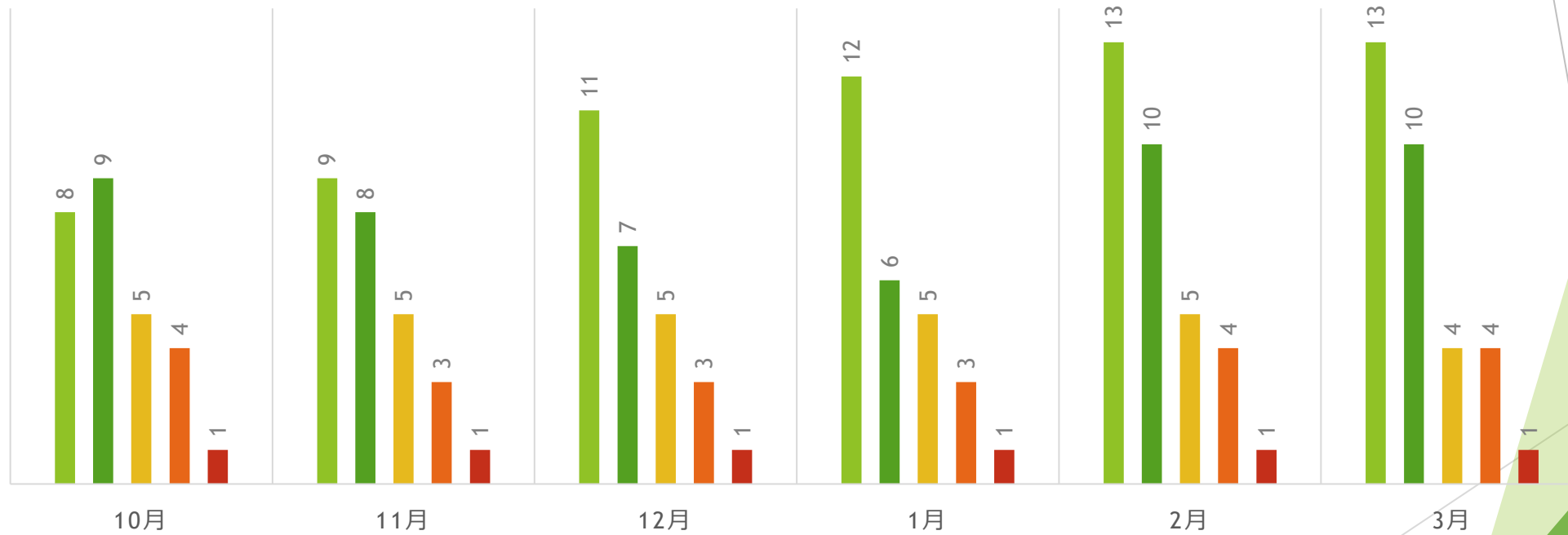
- ・ オムツ交換 ・ 服薬介助点眼 ・ 買い物代行
- ・ 調理 ・ デイ、受診時の送り出し ・ 安否確認

・ 随時サービス

- ・ オムツ交換 ・ 体調不良
- ・ デイを休んだ穴埋め ・ 安否不明
- ・ 家族より、見守りカメラで「何かおかしい！」訪問依頼
- ・ 家族より、電話に出ないので 訪問依頼

介護度別利用者数（月別）

■ 要介護 1 ■ 要介護 2 ■ 要介護 3 ■ 要介護 4 ■ 要介護 5



6カ月間平均

- ◆平均利用者数

 - ◆28.6人

- ◆平均介護度

 - ◆1.91 (前回 2.32)

過去6か月 定期巡回サービスを利用された方

- 要介護1～2の軽度者の利用が多くを占めています。
- 平均要介護度が前回より低下しており、より早い段階から本サービスを導入し、在宅生活の継続を支援できている傾向が見られます。

6ヶ月間、定時・随時サービス回数

集計月	2025/10			2025/11			2025/12		
訪問回数	定期訪問	随時訪問	総計	定期訪問	随時訪問	総計	定期訪問	随時訪問	総計
要介護1	258	13	271	257	12	269	319	40	359
要介護2	266	5	271	219	11	230	226	10	236
要介護3	245	5	250	249	3	252	247	3	250
要介護4	259	5	264	160	6	166	158	1	159
要介護5	3	11	14	3	5	8	3	3	6
集計月	2026/1			2026/2			2026/3		
訪問回数	定期訪問	随時訪問	総計	定期訪問	随時訪問	総計	定期訪問	随時訪問	総計
要介護1	388	33	421	387	31	418	455	10	465
要介護2	182	7	189	211	7	218	350	9	359
要介護3	241	5	246	229	1	230	206	1	207
要介護4	199	1	200	199	4	203	246	3	249
要介護5	3	1	4	3	4	7	2	3	5

6カ月間 要介護度別サービス回数

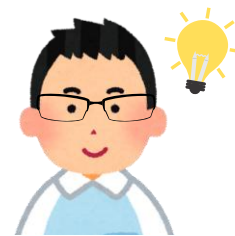
要介護度	月平均サービス回数	利用者1人月平均
要介護 1	367.1回	33.3回
要介護 2	250.5回	30.2回
要介護 3	239.1回	49.4回
要介護 4	206.8回	59.0回
要介護 5	7.3回	7.3回

利用回数・傾向

- 要介護度が高くなるにつれて、1人あたりの月間利用回数が増加する傾向にあります。重度化しても、頻繁な訪問によって在宅生活を支えられていることがわかります。
- 随時訪問もコンスタントに発生しており、24時間対応の重要性が伺えます。

定期巡回でできること 短時間・複数回の訪問 **8** 選

ご利用者の必要なことに応じて
以下のサービス等をおこないます。



● 服薬確認



● 安否確認



● 食事提供



● トイレ介助



● 水分補給



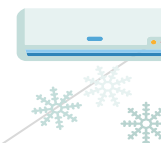
● 点眼



● 起床介助



● エアコン調整



熱中症 嚴重警戒！

定期巡回サービスの、こまめな訪問が役立ちます！



テパエ鶴ヶ島定期巡回サービス

まとめ

- 本日は過去6ヶ月の実績をご報告いたしました。
- **定期巡回サービスは「ちょっとしたこと」でも、1日に何度も訪問できるのが定期巡回の強みです。**
- ▶ 是非、在宅生活の継続のため、今後とも定期巡回サービスをご利用ください。

サービス状況報告は以上です。

次は事例報告になります。

m(__)m

定期巡回随時対応型訪問介護看護

サービス成功事例

～定期巡回サービスから看護介入への展開～

テパエ鶴ヶ島

三枝洋 ケアマネージャー

基本情報と支援の背景

■ プロフィールと生活環境

- 対象者: MM様（要介護2）
- 同居家族: 配偶者（要介護1）の老老介護
- 既往歴等: 令和4年に背骨を骨折。以降、急に意欲が低下。

■ 支援開始のきっかけ（令和6年8月～）

- 離れて住む息子様からの相談によりケアマネ介入開始。
- （以前は息子様が定期的に訪問し、買い物や通院等の世話をしていた）

■ 現在の生活課題

- 記憶力低下による不適切な買い物
- 入浴や着替えの拒否、同じ話の繰り返し
- 食事の偏り
- 日中の世話が必要だが、ご夫婦2人での生活成立が困難

介入当初の課題と目標

解決すべき主な課題

1. 栄養バランスのとれた食事の確保
2. 定期的な入浴の実施
3. 定期通院のサポート

■ 介入の最大の目的

- まずはサービスに入り、「隠れた課題を見つけていく事」

初期介入（定期巡回）と新たな発見

定期巡回サービスの利用開始

- **実施内容:** 安否確認、水分補給、空調確認、簡単な食事提供、受診同行、
- 入浴支援、軟膏塗布

■ 介入して発覚した新たな事実

- **身体の変異:** 左脇腹が赤く、痛みを訴えている。
- **衛生面:** 爪が異様に伸びている。

■ 迅速な対応と新たな課題

- 直ちに受診が必要と判断！皮膚科・内科受診を院内含め依頼（院内は自費）。
- 受診の結果、薬が処方され**「服薬管理」という新たな課題**が発生した。

アセスメントの見直しと看護介入

支援体制のアップデート

- ・ 訪問スタッフと協議した結果、**「看護師介入が必要」**と判断。
- ・ **「定期巡回随時対応の介護看護」**へサービスを移行。

■ 現在の主な支援内容

- ・ **医療・看護的ケア:** 服薬管理、健康相談、爪の管理、皮膚状態の観察
- ・ **生活援助・介護:** 水分補給、入浴支援、ゴミ捨て、掃除、家事援助
- ・ **ご家族への連携:** 普段の様子への報告

寒い時期の対応とサービスのメリット

寒冷期に向けた具体的な対策

- 室温の管理、脱水予防
- 温かい食事の提供
- 衣類、寝具の調整

■ 1日複数回訪問（定期巡回）のメリット

- 朝夕の寒さ厳しい時間帯でも、適切なケアが受けられる。
- 寒さで体調を崩しやすい時期でも、定期的な訪問により誠実な環境の改善が行われる。

まとめ

- ▶ MM様の事例は、単なる生活のお手伝いにとどまらず、「日々の生活の中から課題を見つけ出し、
- ▶ 医療と介護が連携して迅速に対応する」という
- ▶ 定期巡回・訪問看護サービスの強みが発揮されたケースです。
- ▶ 今後もお家族と連携しながら、ご本人が住み慣れたご自宅で、少しでも穏やかに、そして安全に暮らし続けられるよう、サポートを継続してまいります。

▶ ご清聴ありがとうございました。